

2008 年度

科目名 文化財科学実習 I	対象学科・学年 文学部文財 3 回生	担当者 広岡 公夫
授業テーマ 考古学・文化財学に関する自然科学的取り扱いの基礎		
授業の概要と目標 統計学の初歩や文化財の自然科学的取り扱いの基礎について、解説講義・実習・実験を行う。		
評価方法 実習のレポート，出席状況等を加味して総合的に評価する。		
テキスト なし	著者	出版社
参考書 考古学のための年代測定法入門 博物館実習マニュアル	著者 長友恒人 編 博物館講座協議会編	出版社 古今書院 芙蓉書房出版
授業スケジュール・内容 発掘調査がなされたガンジヤマ A2 号窯（愛知県大府市）の燃焼室に残されていた山茶碗（30 個）について、それらの口径、器高、高台径の数値を用いて統計学の初歩を習得する。 「統計学の初歩」 1～2. 平均値を求める。 3～5. 誤差とは何か？ 標準偏差を求める。 6～7. ヒストグラムを描く。 8～10. 相関係数をもとめる。 11～12. 散布図を描く。 13～15. 最小 2 乗法を知り、回帰直線を描く。		